

少量危険物 貯蔵取扱所 非常用発電機

消防署記入枠

相談日： 年 月 日 ()

出席者：

1. ご相談者様情報

会社名：

ご担当者様：

ご連絡先：

ご出席者様：

2. スケジュール

届出予定日： 年 月 日

着工予定日： 年 月 日

中間(配管気密)検査予定日： 月 日

完成検査予定日： 年 月 日

3. 貯蔵・取扱所の所在地及び建物情報

新築 既存 住所：千代田区 建物名：

設置場所： 屋外 屋内(設置階：) 室名：) 屋上

耐火造：地上 階、地下 階 用途： 項() 建築面積： m²

延べ面積： m² 屋上(設置室)面積： m² 警報・消火設備：

4. 発電設備 屋上に設ける場合はキュービクル式に限ります。

燃料： A重油 軽油 その他() 耐震措置：

1時間あたりの燃料消費量： L/h 最大数量： 燃料 潤滑油 L

想定連続運転時間(BCP含む)： 24時間以上 その他()

倍数：0. 倍(合算) 発電機全出力： kW キュービクル種別：

発電設備の保有距離(保安のための距離)： mを確保

5. 燃料タンク タンク容量は、タンクの内容積の90%の量です。

タンク種別： 圧力タンク 圧力タンク以外

流出防止措置： 防油堤 キュービクル式(防油堤構造) その他()

タンク容量： L 材質： 板厚：

架台とタンクの耐震措置： ポンプの有無と位置：

給油方法： ウイングポンプ 給油口 BOX 地下タンク その他()

6. 少量危険物等の運用基準

規制の方向性：第1

屋外：第4、2 屋内：第4、3 屋上：第7、3

発電設備とタンクの設置位置の例：資料、第12

必ず予防係にも事前に相談してください。



危険物関係施設の運用基準